

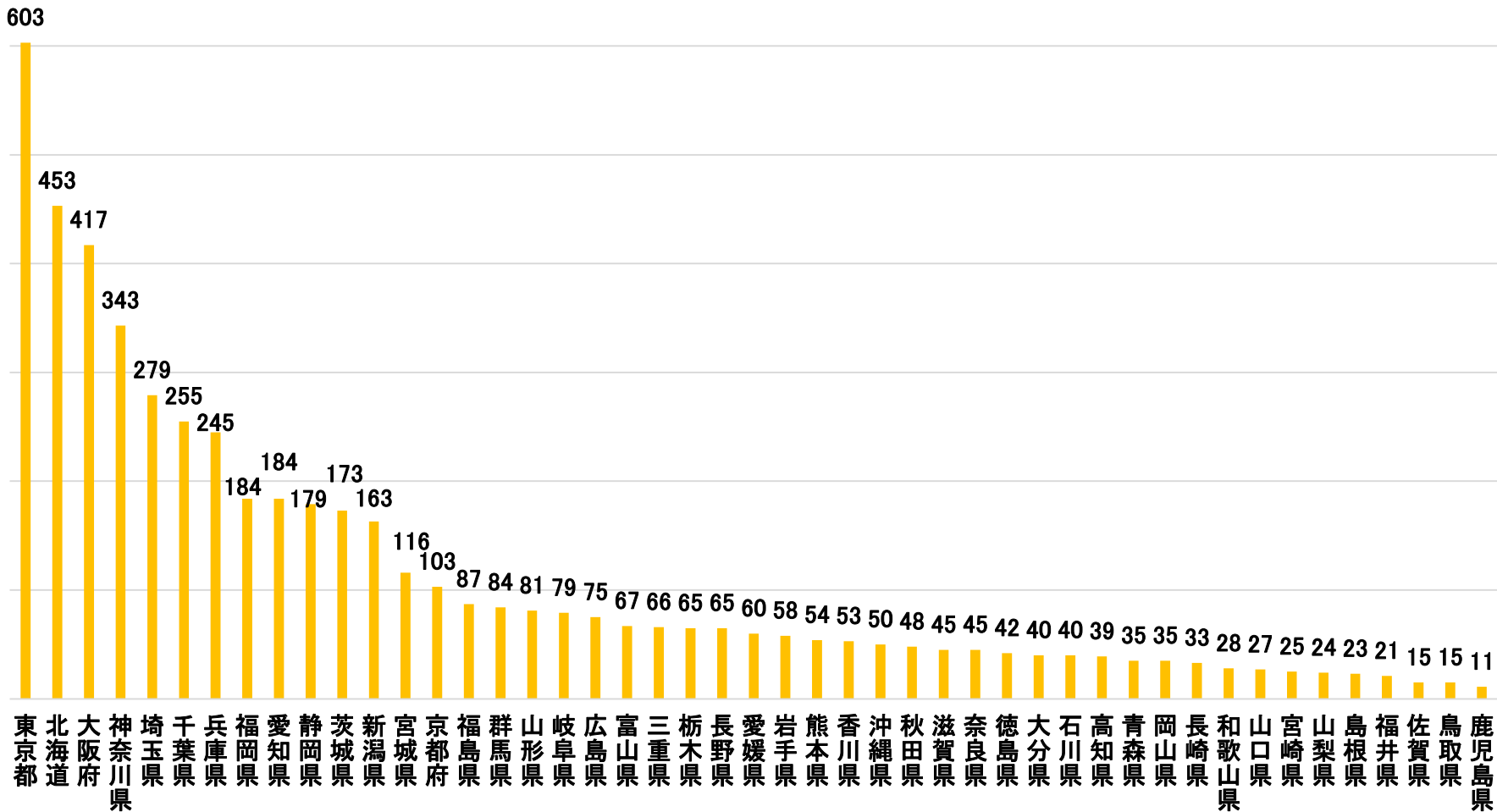
日本保険薬局協会 管理薬剤師アンケート報告書

2021年8月
一般社団法人 日本保険薬局協会
流通問題検討委員会・薬局機能創造委員会

- **実施主体** 一般社団法人 日本保険薬局協会
流通問題検討委員会・薬局機能創造委員会
- **実施目的** 今後の協会の発展を支える保険薬局全般
に関する情報源の確立
- **アンケート対象** 日本保険薬局協会会員薬局 管理薬剤師
- **アンケート方法** オンラインWEB調査
- **アンケート実施期間** 2021年7月29日～2021年8月16日
- **アンケート案内方法** 正会員の協会担当者にメールの配信
- **アンケート回答数** 5232薬局

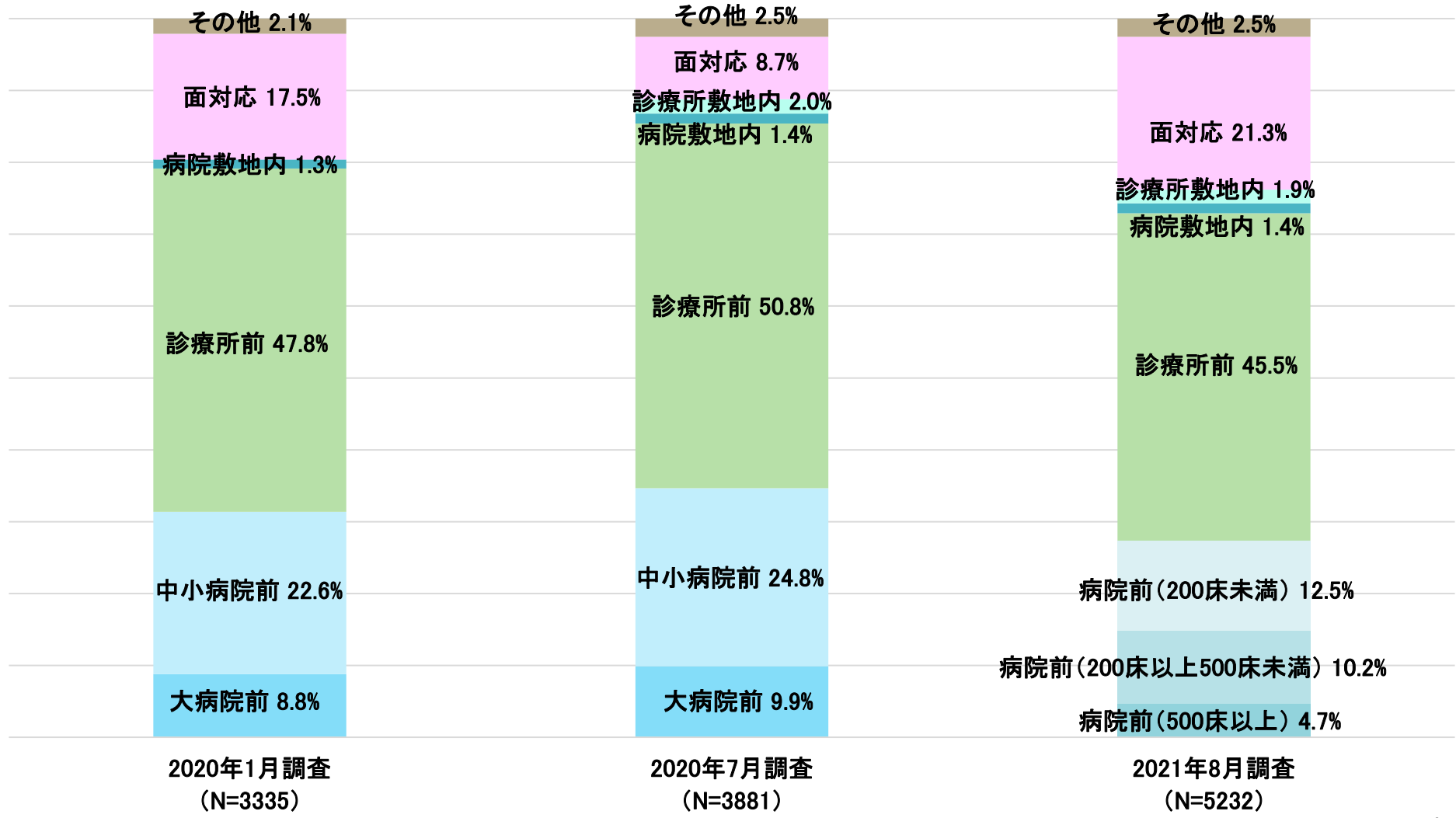
回答薬局都道府県別一覽

(N=5232)



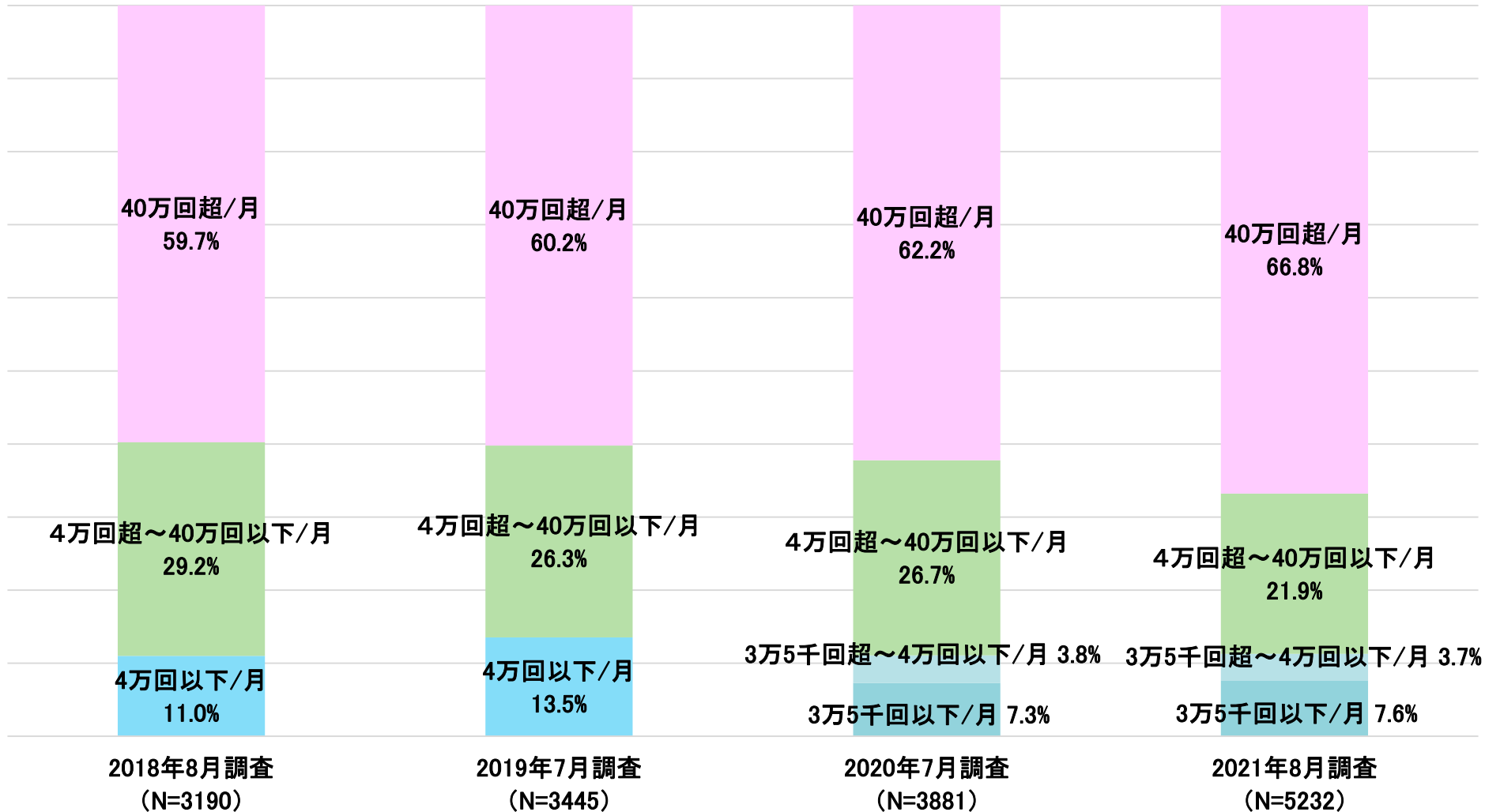
Q1-1. 基本情報について

Q1-1 貴店の立地形態について教えてください。(N=5232)



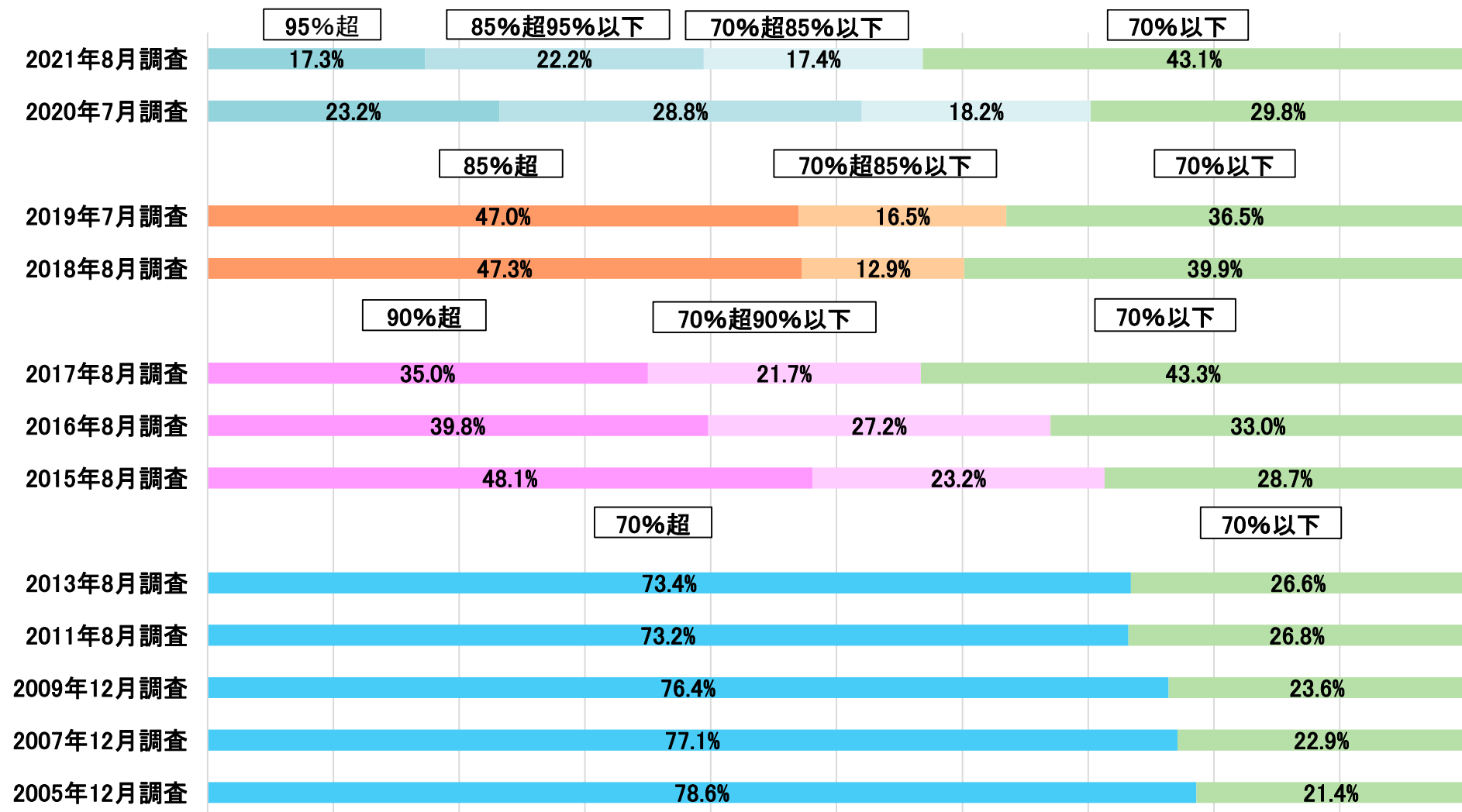
Q1. 基本情報について

Q1-2 貴店が所属する薬局グループ全体の処方箋受付回数について教えてください。(N=5232)



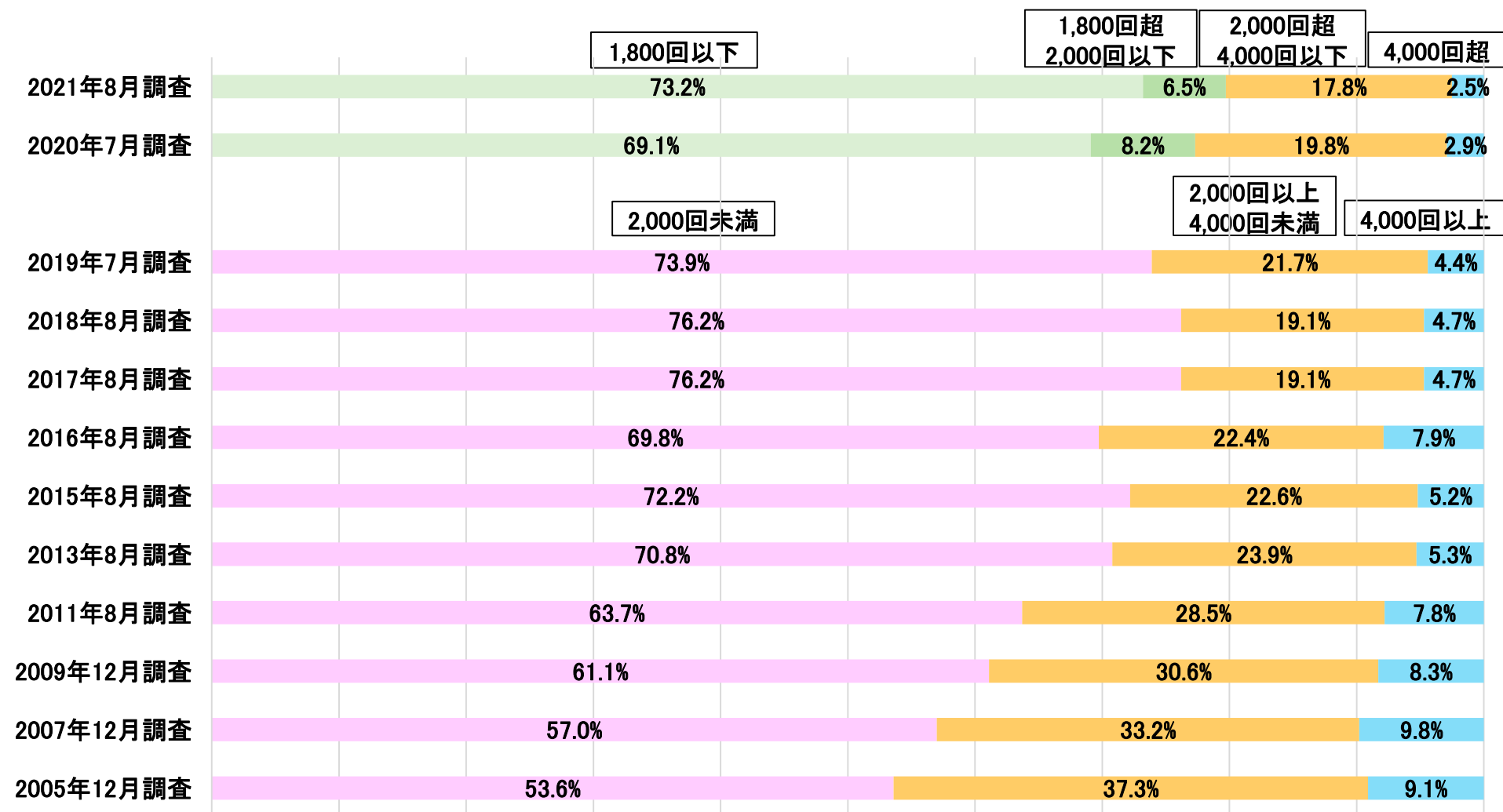
Q1. 基本情報について

Q1-3 貴店の処方せん集中度について、教えてください。(N=5232)



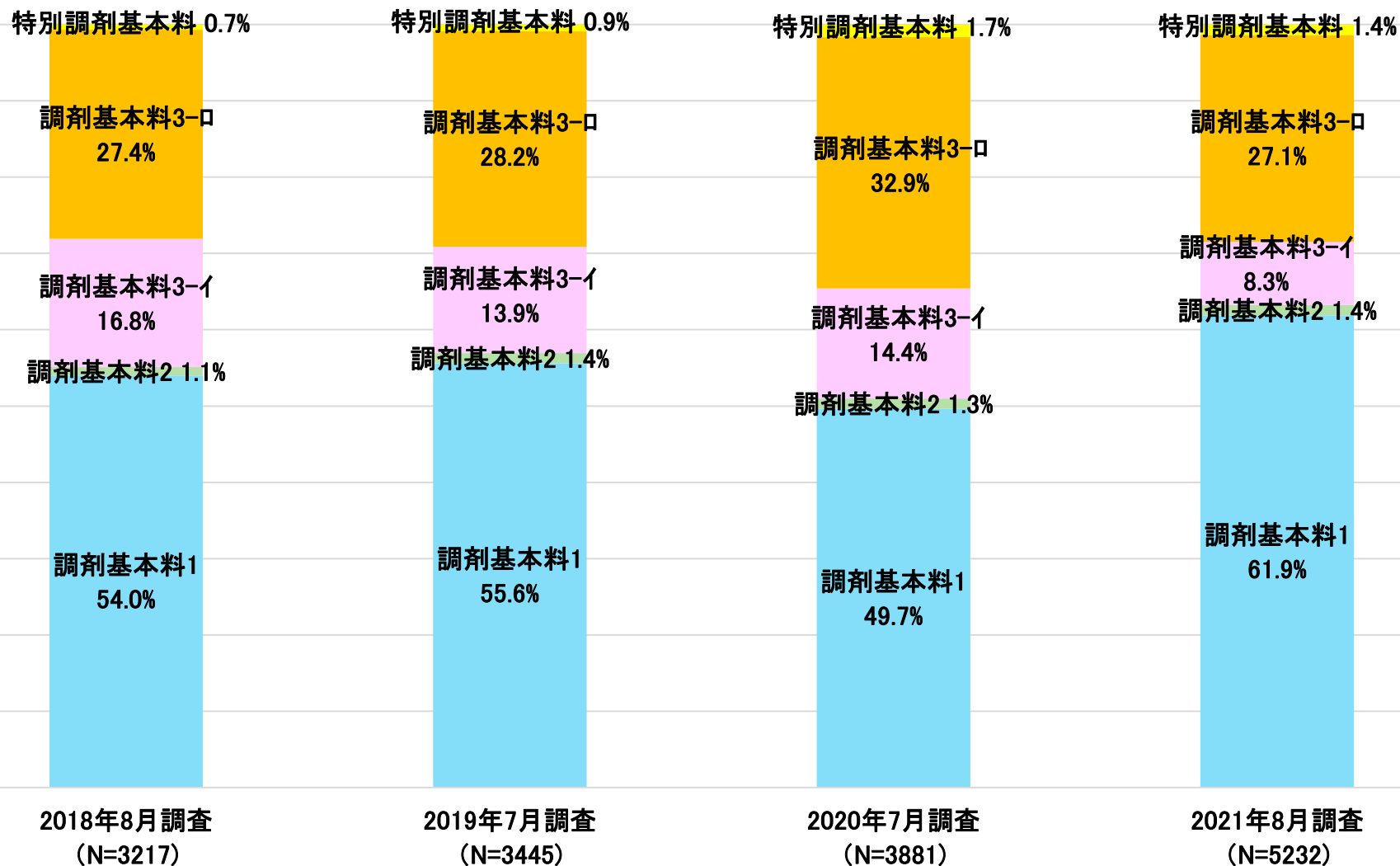
Q1. 基本情報について

Q1-4 2020年3月～2021年2月の月間平均処方せん受付回数について、教えてください。(N=5232)



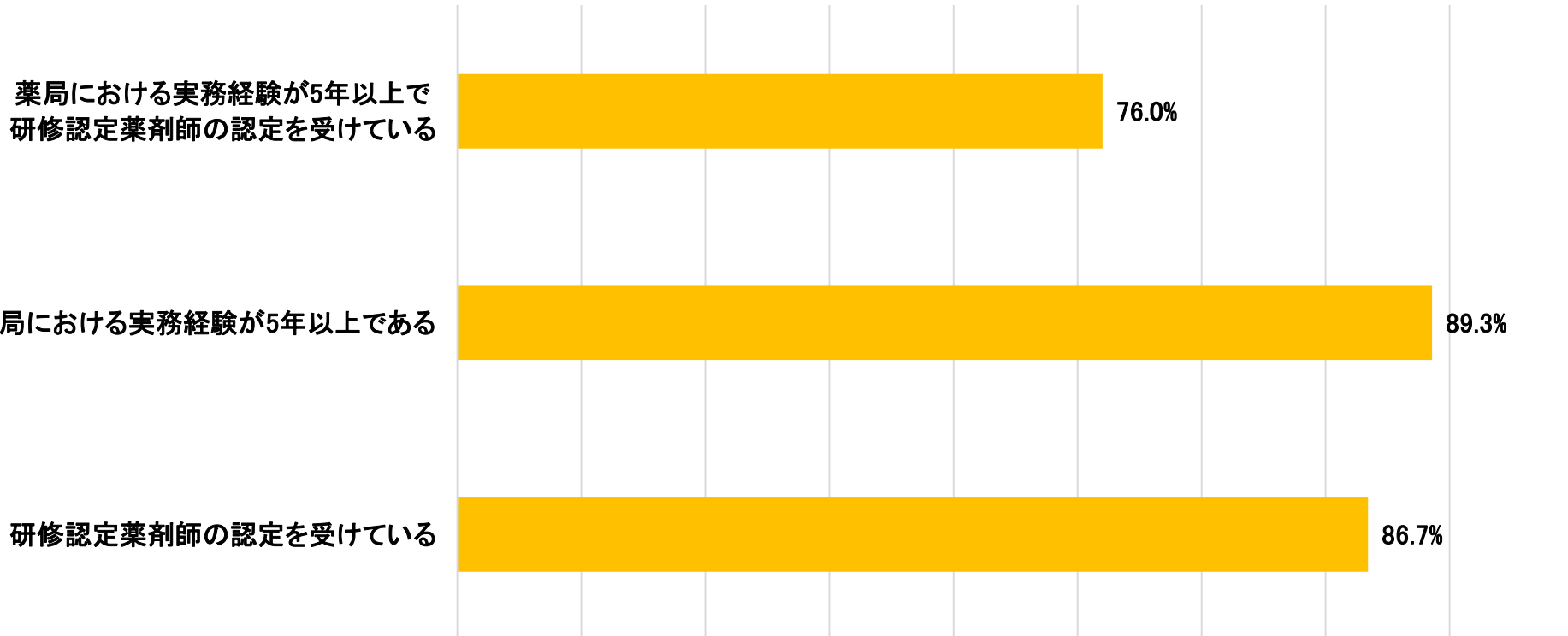
Q1. 基本情報について

Q1-5 貴店における調剤基本料について教えてください。(N=5232)



Q1. 基本情報について

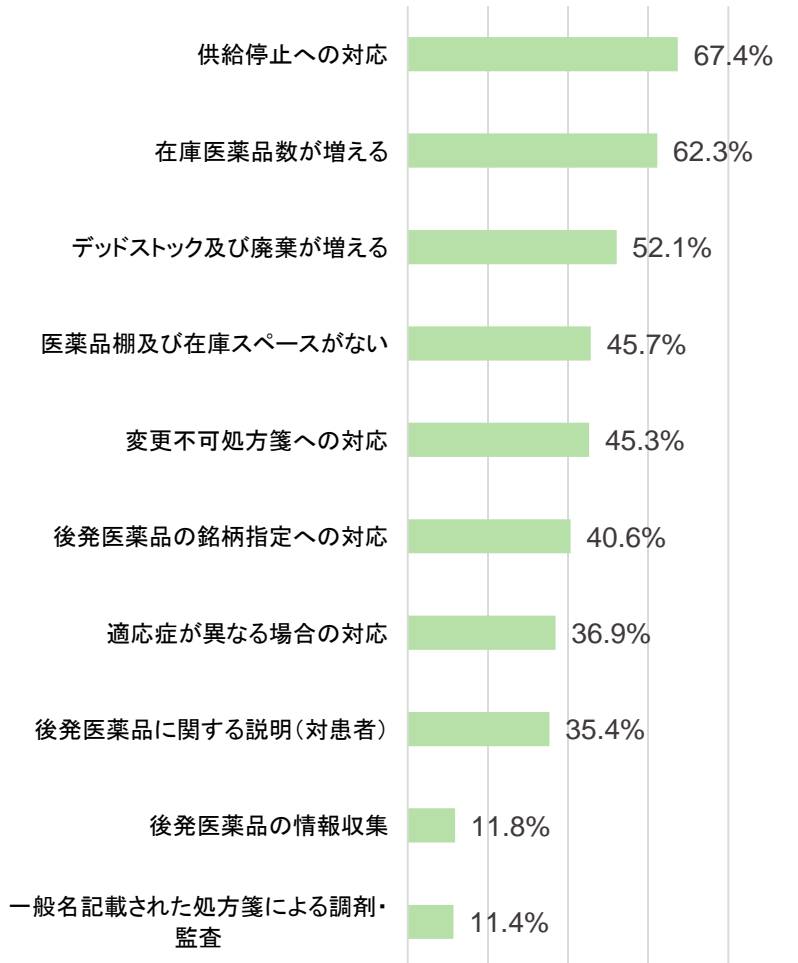
Q1-6 貴店における管理薬剤師に該当するものを選択ください。(複数回答可)(N=4923)



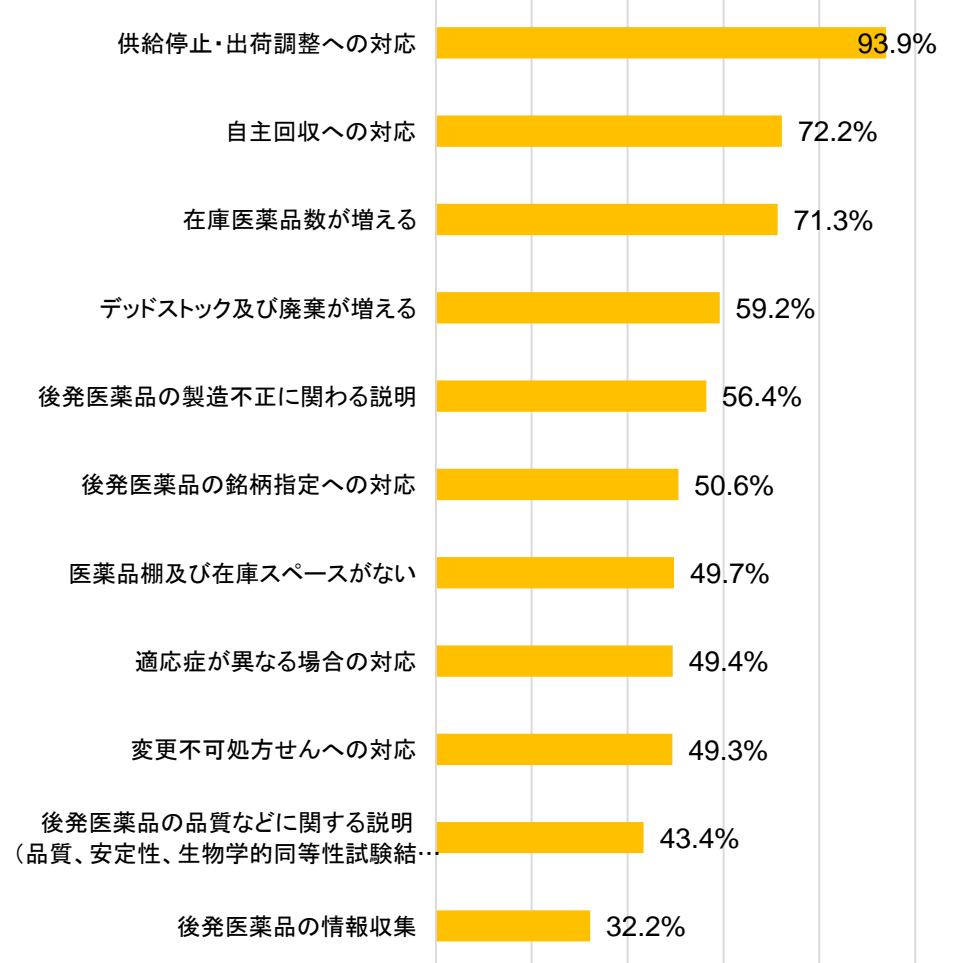
Q1. 基本情報について

Q1-7 現在の後発医薬品調剤割合を確保するためにかかる負担について教えてください。(複数回答可)(N=5227)

■ 2020年7月調査時 N=2,677



■ 2021年8月調査時 N=5,227



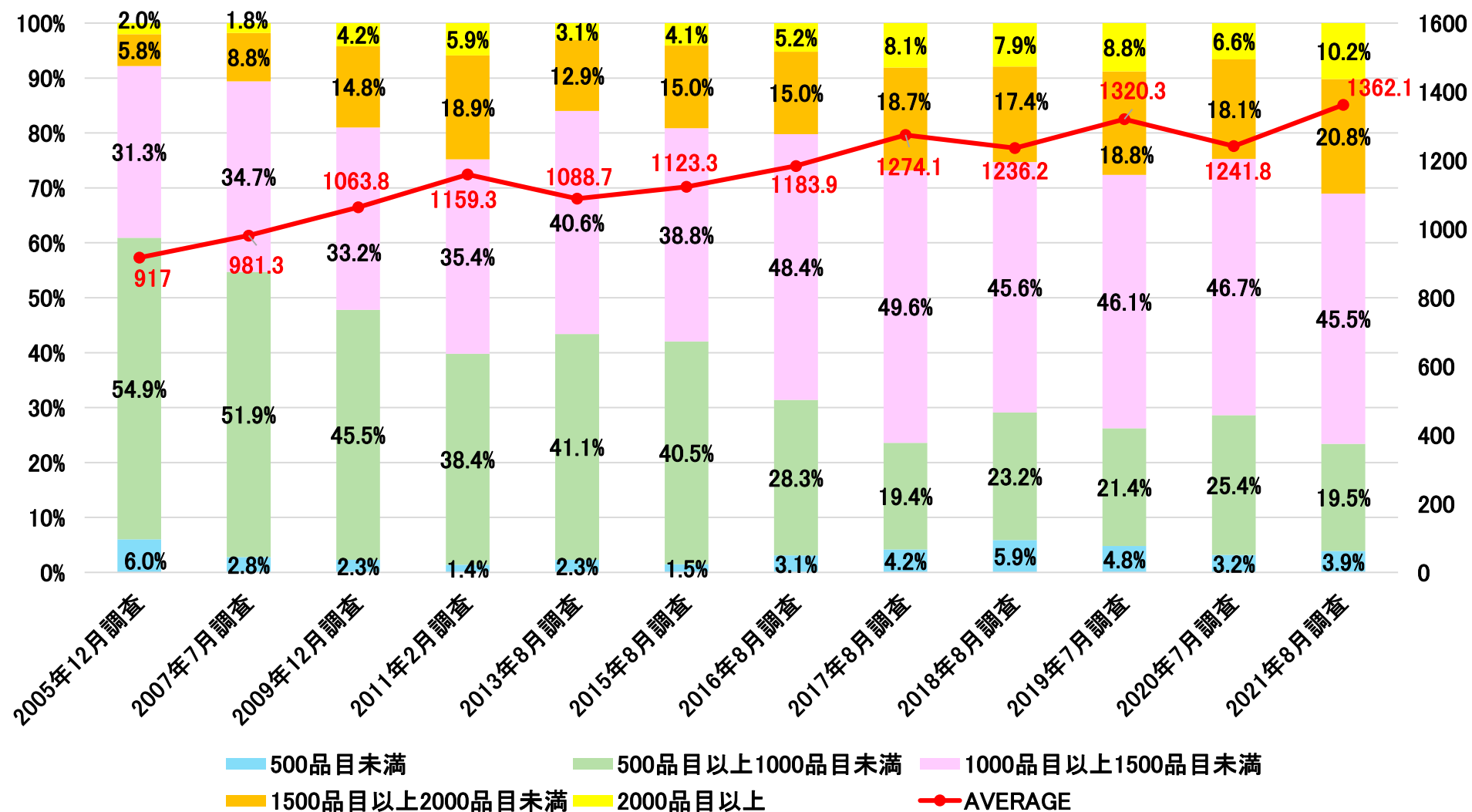
Q1-7 現在の後発医薬品調剤割合を確保するためにかかる負担についてお教えてください。(複数回答可)(N=5227)

その他(フリーコメント)

- ・度重なるメーカー変更への患者様苦情対応、ドクターからの苦情対応
- ・患者さんへの説明対応。安定したメーカーがなく、毎月変更してる状況のためGEに対する不安が増す方への説明対応。不足となっても入荷するか未定で対応ができず、そちらの説明にも時間がかかること。
- ・患者様のジェネリック不信。先発品希望増。流通不安による、在庫確保困難。
- ・先発品への切り替え時における、価格上昇を中心とした患者への説明。
- ・在庫確保が遅れ、不足分を患者宅へお届け
- ・欠品したほとんどの薬は会社負担で個別に郵送しており経費を圧迫している。
- ・供給停止のため先発医薬品へ変更する品目があったとき、他の品目も先発を希望される場合がある。
- ・後発品が全く手に入らないものが出てきてジェネリックの方、生活保護の方にも先発品を調剤せざる負えない例が多々ある。
- ・広域で集めているため、全ての処方医へ情報提供が追いつかない。
- ・日医工、サワイの出荷調整で毎週数品目が入ってこないと卸から新たに連絡があり、そのたびに在庫の確保(他銘柄GE,先発含む)を強いられるため、業務に多大な影響が出ている。
- ・先発品の供給にまで影響しており、同一成分の薬剤が全く手に入らない場合の対応、いつどの薬剤が納品されるのか全く予想がつかない事への対応。
- ・発注時間が余計にかかっている。
- ・卸への在庫確認依頼、電話発注の頻度増加。
- ・入荷できるメーカー、卸を探す手間がかかり発注作業に時間をとられる。また他店から薬を貰ってくるなどの作業が頻発するため、時間外労働や残業が増えた。
- ・とにかく小林化工の一件を発端として様々なGEの流通制限や製造中止などなど、処方の変更、選択薬剤の変更、使用中の薬剤の確保、確保できない場合の零売、移動、そのための運送費増大、不足発生時の郵送料増大、発注調節などもうわけがわからないくらい大変です。
- ・入庫できるメーカーを複数揃えないといけないので入力業務などでエラーが起きやすく、インシデントが起りやすい環境にある。
- ・流通が止まっており確保もできない状況にも関わらず、後発品加算についての除外等が行われない点。

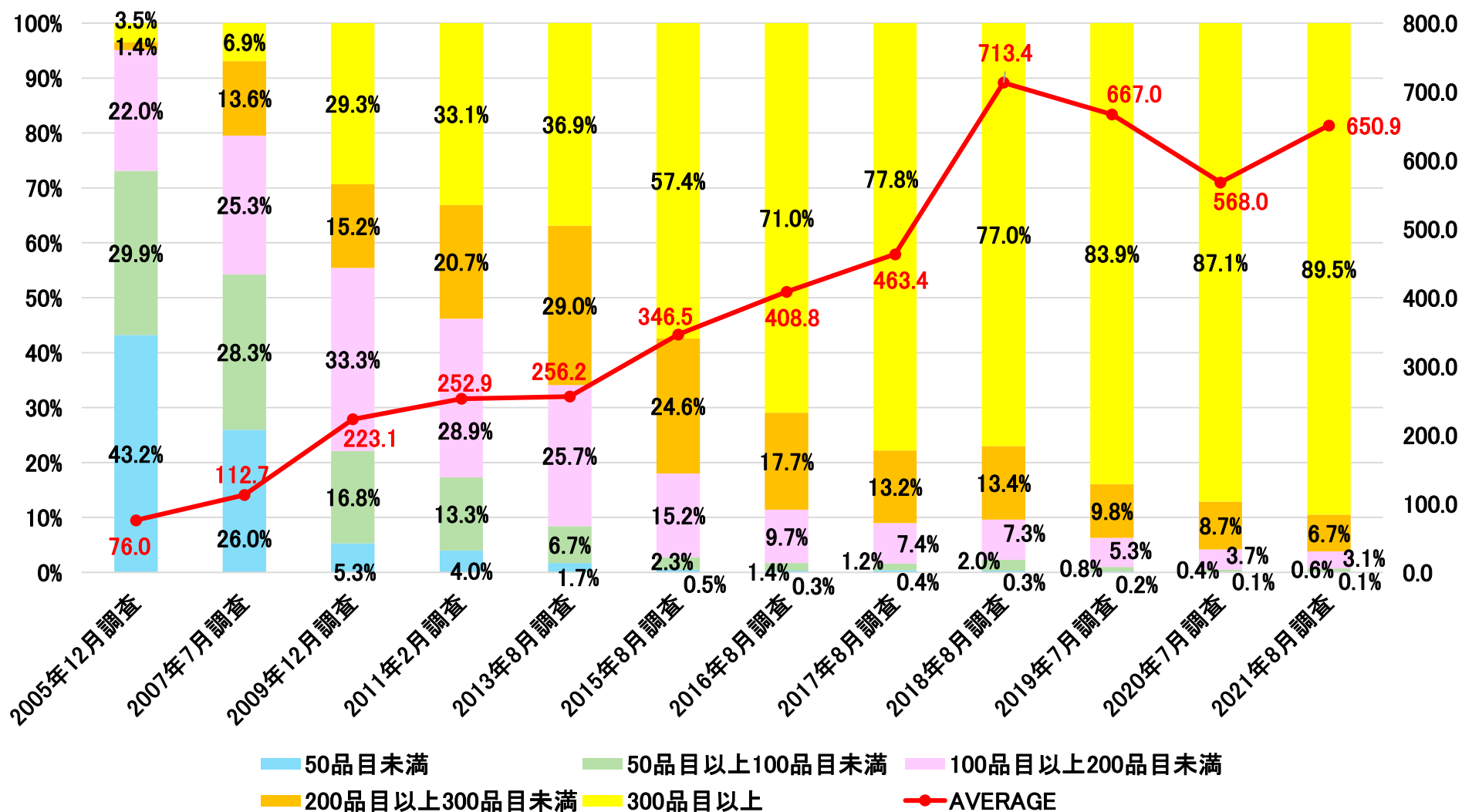
Q1. 基本情報について

Q1-8-1 在庫している全医療用医薬品の総品目数(N=5214)



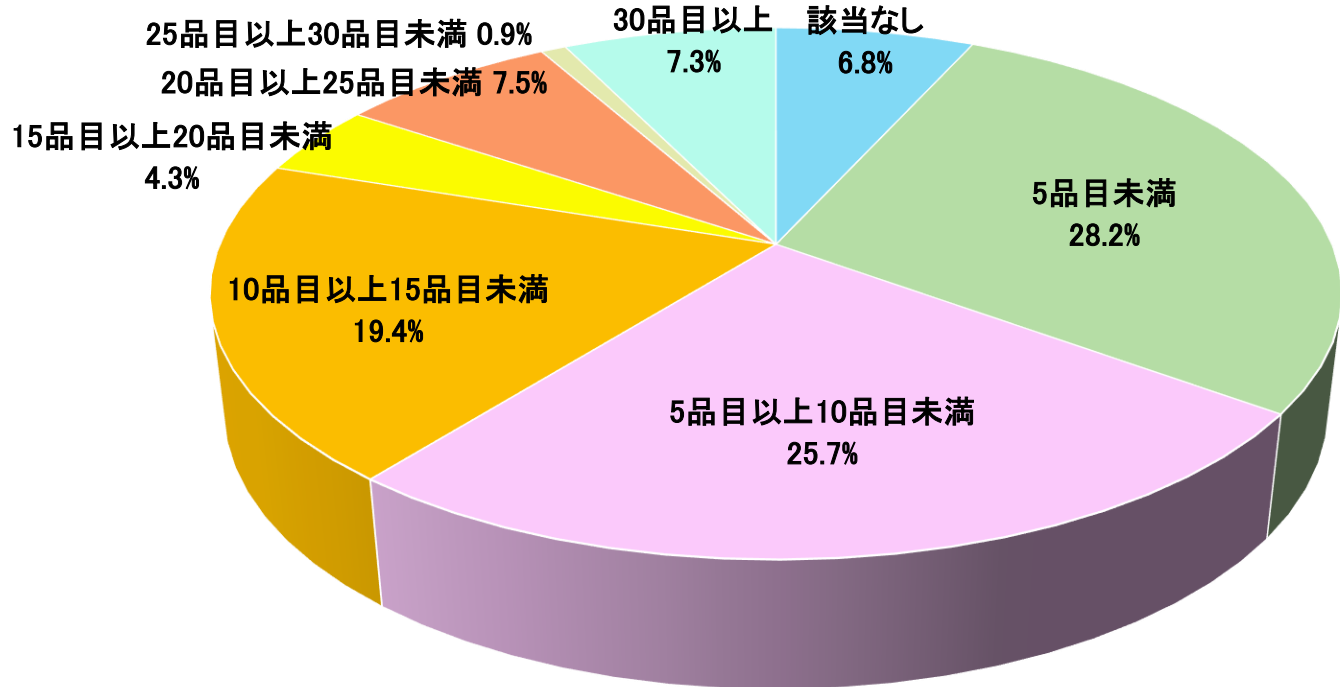
Q1. 基本情報について

Q1-8-2 在庫している後発医薬品の品目数 (N=5203)



Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

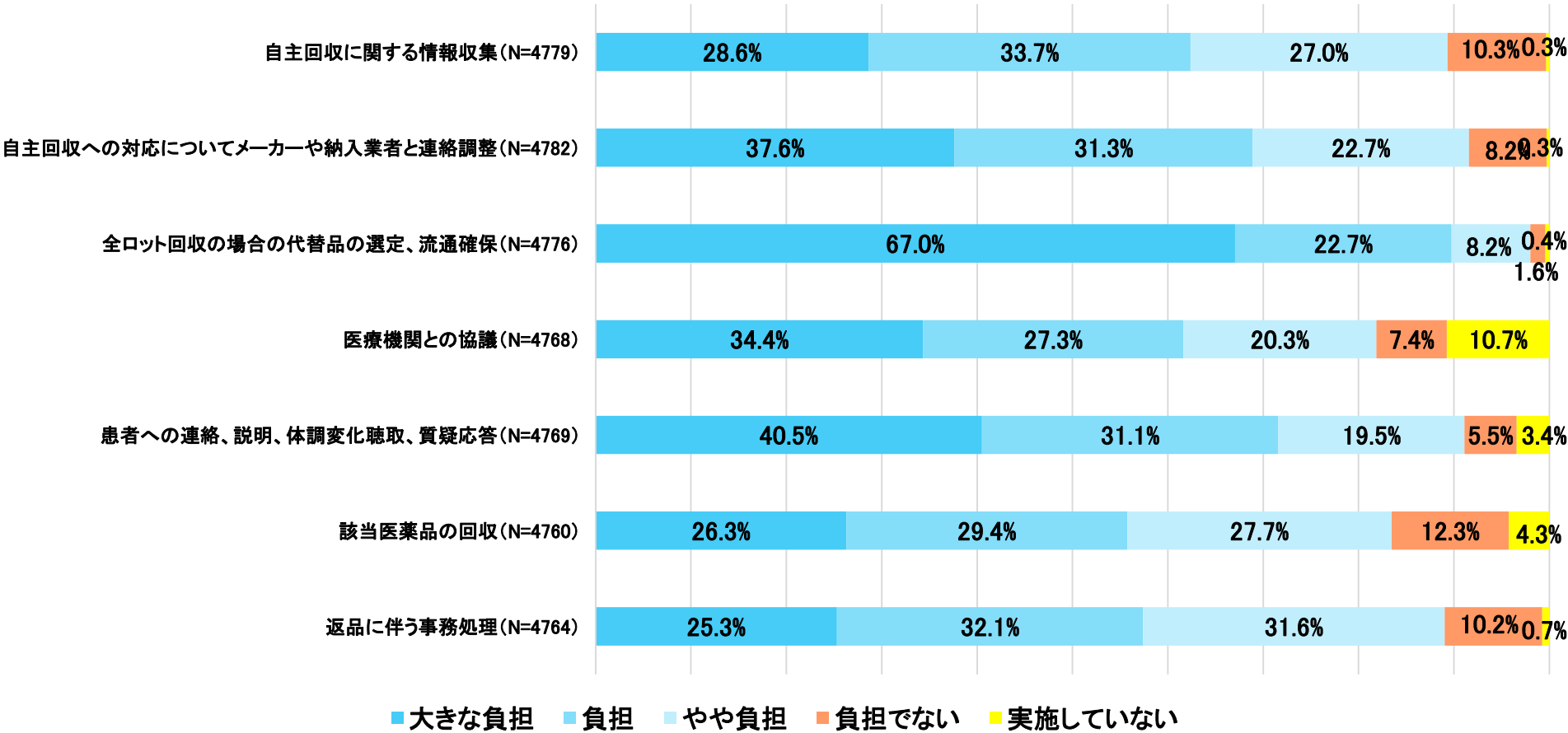
Q2-1-1 貴店が在庫する後発医薬品の中で、直近1年間に自主回収品に該当した品目数について分かる範囲でお教えてください。※同じ製品の別規格はそれぞれ1品目とカウント。(N=5232)



- 該当なし
- 5品目未満
- 5品目以上10品目未満
- 10品目以上15品目未満
- 15品目以上20品目未満
- 20品目以上25品目未満
- 25品目以上30品目未満
- 30品目以上

Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-1-1で該当あり(1品目以上)を回答された方にお聞きします。
Q2-1-2 自主回収に伴い薬局で対応した内容及びその業務負担についてお教えてください。



Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-1-1で該当あり(1品目以上)を回答された方にお聞きします。

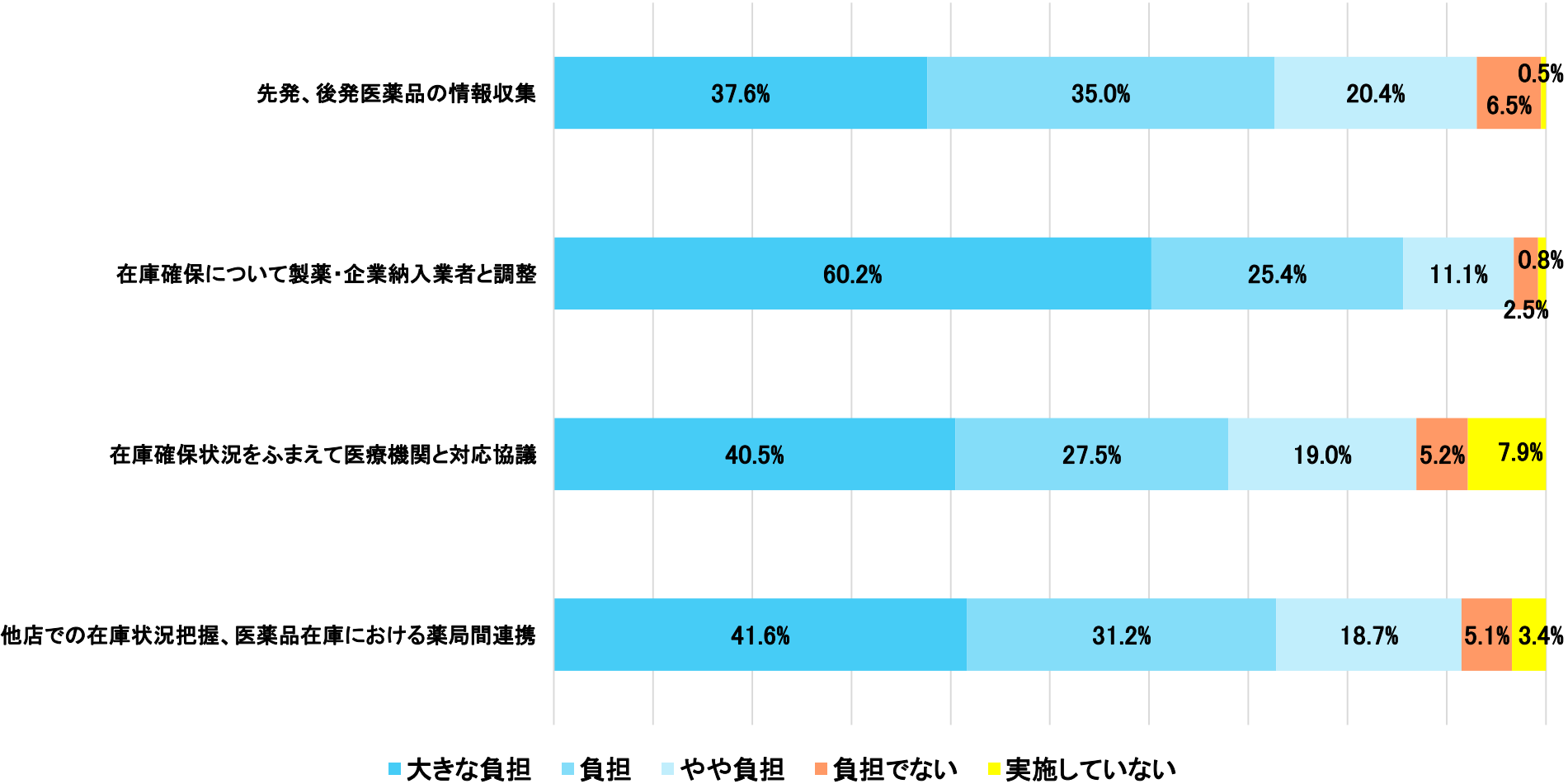
Q2-1-2 自主回収に伴い薬局で対応した内容及びその業務負担についてお教えてください。

その他実施していること(フリーコメント)

- ・後発品の場合は別銘柄の在庫変更及び確保。先発品+後発品の場合、同種同効薬の把握と在庫確保、処方医や患者への説明。
- ・回収や出荷調整があまりにも多く、全スタッフへの周知が追いつかない。該当薬の在庫がなくなった時に他メーカーの後発に替えるか先発にするか、医療機関に疑義照会して別の薬剤に変更するか等の対応を店内全員に周知、統一するのも負担となっている。
- ・処方変更・代替薬への変更依頼の疑義照会が非常に大きな負担
- ・疑義照会を伴う別剤形への変更。後発品希望患者に先発品で提供。同種同効薬への変更提案。
- ・後発に限らず先発の場合でも、疑義照会等での変更のお願いをする必要があり大きな負担となっている。
- ・自主回収となると返品処理、医療機関との話し合いなどとても大きな負担となります。
- ・自主回収になった薬品の情報をいち早く処方元の先生にお伝えし相談するとともに、患者へきちんと説明できるようスタッフ間で情報を共有している。
- ・欠品状態で、口頭で説明を行っているにも関わらず、処方を継続する医師への対応。
- ・医療機関との協議を行うにあたり、類似薬の資料を集め、DRに説明。 ・医療機関説明の際の資料作成
- ・定期的に情報を確認し、卸とも入荷可否について相談。HPにも高頻度でその旨をお伝えしている為、日常業務以外の負担が大きい。
- ・自主回収にあたり、代替品などを探すのが負担。医師と協議も必要。
- ・一連の自主回収によりジェネリック拒否する患者が増え、その都度ジェネリックの説明を再度実施している。
- ・薬局側は製品を信用し患者様に提供している医薬品であるのにも関わらず、当該医薬品が自主回収に該当した場合、その信用を裏切られるとともに、全て薬局が事務作業、患者説明等対応しないといけないことに大変大きな負担を強いられている。
- ・該当薬を使用していない患者からの新聞記事などをみでの相談やクレーム等があり、その対応。
- ・あるメーカーの薬品が自主回収となった場合、他メーカーの品目もその影響を受けて供給不安定になったり、出荷調整になることが多々ある。
- ・先発品で調剤せざるをえなかった。
- ・回収が該当するものだけでなく、他メーカーの流通にも影響が及んでいる。入荷が安定せず、結果として患者様へ影響が及ぶ。
- ・遅延している後発医薬品の納品の催促や採用変更が大変負担となっている。
- ・普段する必要のない業務が頻繁に起こっている。日を追うごとに在庫状況で求められる対応が変化しているため、負担が大きい。
- ・代替品の流通状況の確認、流通制限や過去の取引状態の確認の時間がかかる。
- ・自主回収後供給再開情報の収集。 ・供給再開の目処に関する情報収集。
- ・回収情報を常にメーカーのホームページ等で確認している。
- ・別メーカーへ切り替えた際に、半端に余ってしまった在庫の処理

Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-2-1 在庫確保のために実施している内容及びその業務負担について教えてください。(N=5232)



Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

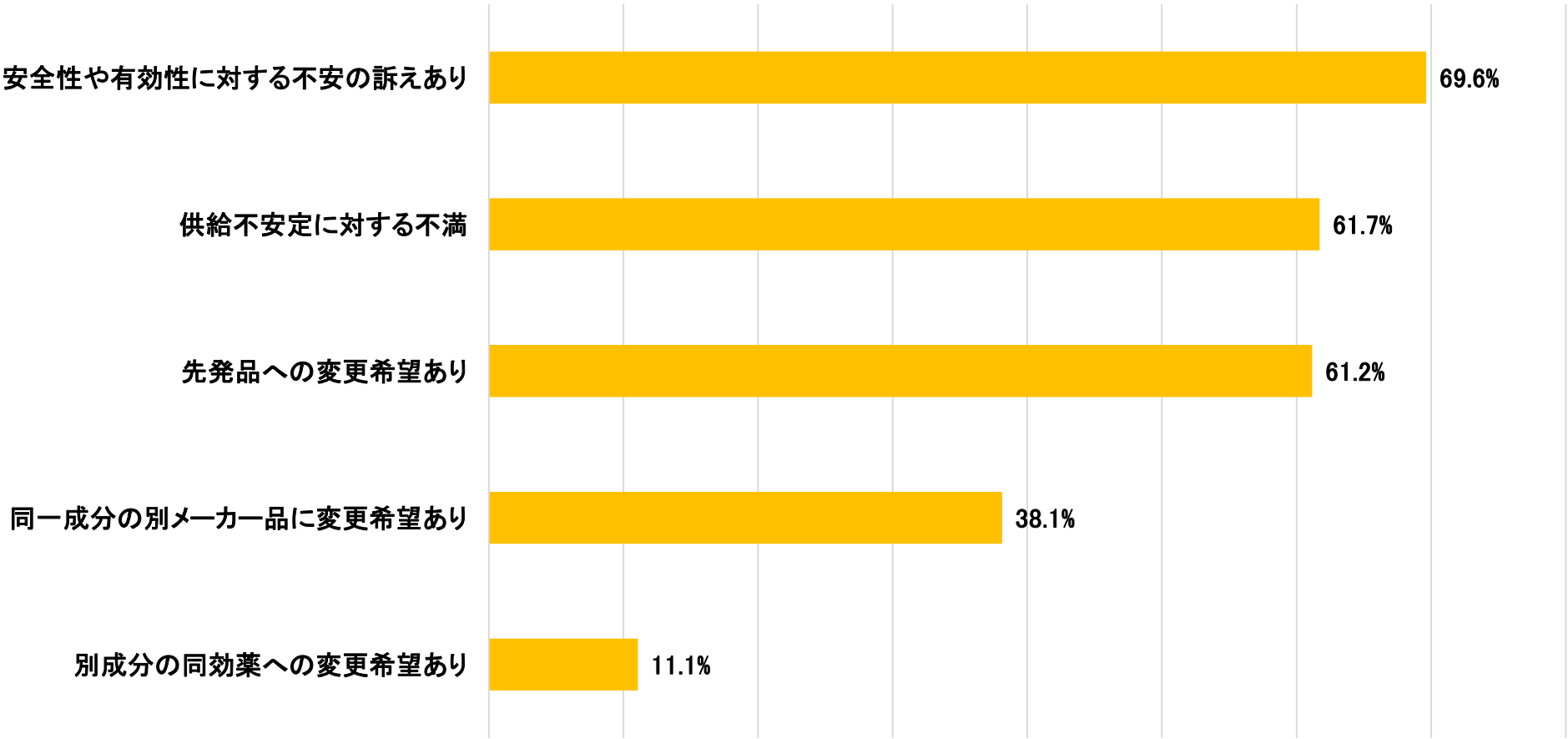
Q2-2-1 在庫確保のために実施している内容及びその業務負担について教えてください。

その他実施していること(フリーコメント)

- ・疑義照会を伴う別剤形への変更。多数メーカーからの少量ずつ購入。後発品希望患者に先発品で提供。同種同効薬への変更提案。
- ・高用量規格の半割および1/4分割で対応。疑義照会后、同効薬への変更。
- ・払出し患者のリストから必要数量を計算し対応を検討しています。変更が可能な内容か、変更が可能でない場合はいつまでにどのくらいの数量が必要か整理します。その上で病院との事前調整や卸との交渉を行っています。
- ・今後の流通、代替薬の確保などを卸等から情報収集したうえで、処方医への情報提供と代替薬の提案や相談を行っている。
- ・入手困難な薬剤の時には疑義照会を実施して代替え薬の提案及び処方変更をお願いしている。
- ・各卸へ電話を行い、安定して供給在庫ができていないメーカーについて問い合わせを行っている。病院薬剤部と在庫状況について報告を行う。
- ・精神科門前のため、急遽出荷調整等で変更になった場合は、患者様への丁寧な説明を心がけている。
- ・卸にどのメーカーがあるかの調査。患者への説明。
- ・メーカーに最新状況を電話で確認
- ・調整のたびに全卸へ在庫状況を電話で確認。1日の業務の半分以上を薬の確保に時間を取られるようになった。
- ・地元卸担当者で連絡を取り合っている在庫確保が難しくなる可能性のあるものに関する情報を早めに教えていただけるようにしている。
- ・発注しても納品されないため納品予定日の確認を納入業者に行っています。
- ・入荷未定になったものについて、契約している卸全部に代替品がないかその都度確認
- ・日々入荷可能不可能なメーカーが違うため、入荷しなかったらほかのメーカーを探し、かつ入らなかったメーカーの商品も発注を継続しなければいけない。その結果2重3重の在庫になっており、その処理にかなりの負担がかかっている。
- ・在庫確保したメーカーがドミノ倒しのように次々出荷調整になるのではないかと、という不安(的中する)のためいろんなメーカーの薬を在庫しているのが大変負担。
- ・今まで使っていたメーカーが入らず卸に現状入荷できるメーカーを購入すると他薬局で使っていない場合は不動後廃棄につながる。

Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-3-1 後発医薬品の自主回収や出荷調整に対する「患者」からの訴えについてお教えてください。(複数回答可)
(N=5214)



Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

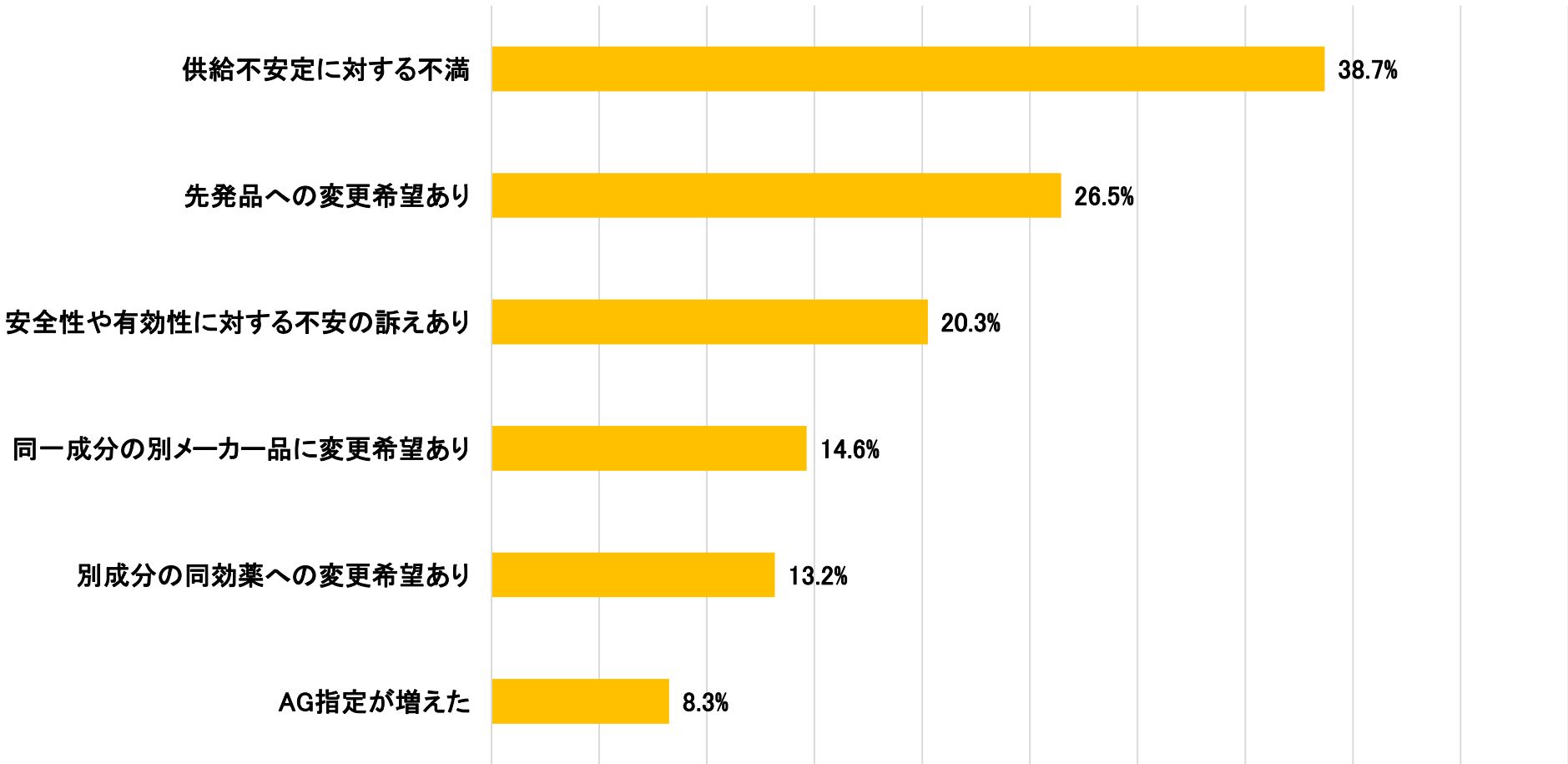
Q2-3-1 後発医薬品の自主回収や出荷調整に対する「患者」からの訴えについてお教えてください。(複数回答可) (N=5214)

その他(フリーコメント)

- ・こちらから説明をしても「自分の欲しい薬が手に入らないわけがない」「薬局が悪い」と思っている。
- ・欠品は患者にとって薬局の責任であると考える方もいて説明しても理解されずクレームに繋がる。
- ・メーカーではなく薬局へのクレーム批判につながっている、謝るしかできない。
- ・出荷調整品のメーカーであっても今までと同じメーカーが欲しいと希望あり。
- ・何とかして今まで通りのものを確保してほしいという訴え。
- ・そんなこと(納品しないこと)があるのか?と驚きの声。
- ・薬をもらう度にGEメーカーが変わるので不信感あり。又、やっと覚えた薬が変われば飲み間違いかもと不安の訴えあり。薬名というより見た目やデザインなどで覚えているため飲んでる薬が何か分かりにくい。
- ・場合によっては、メーカー変更を繰り返すことがあり、不安、不満につながる。
- ・メーカー変更対応を行った所、薬局が儲けの為にやっていると怒っていた患者さんもいた。
- ・薬局による不手際でないのにも関わらず、後発品変更により発生する負担金額の増額分を負担するように求められることがある。
- ・後発品間で金額に差がある事に対する不満。(回収や出荷調整により変更となった後発品が今までより高額だった場合)
- ・完全に納得したわけではないのに、先発医薬品しかご準備がないためそちらで調剤となり、患者負担額が増える事態が発生している。薬局への信頼の低下や金額がかかわることのため強いクレームをいただくことも多々ある。
- ・新聞や雑誌を見て自分が飲んでる薬が対象の薬剤があるかの質問が多い。
- ・そうなった経緯や理由。
- ・小林化工・日医工は嫌だ。
- ・原薬の仕入先、工場の場合等の問い合わせ。
- ・国が動かないのはなぜかという問いかけ。
- ・今までジェネリック希望であった患者も全て先発品への変更を希望される。「日医工」だけは絶対に飲みたくないとの訴えあり。
- ・製造工場の所在地の国籍の問い合わせあり。日本製か否か。
- ・そういうのに対するメーカーからの補償や謝罪って無いの?という質問。

Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-3-2 後発医薬品の自主回収や出荷調整に対する「処方医」からの訴えについて教えてください。(複数回答可)
(N=5198)



Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

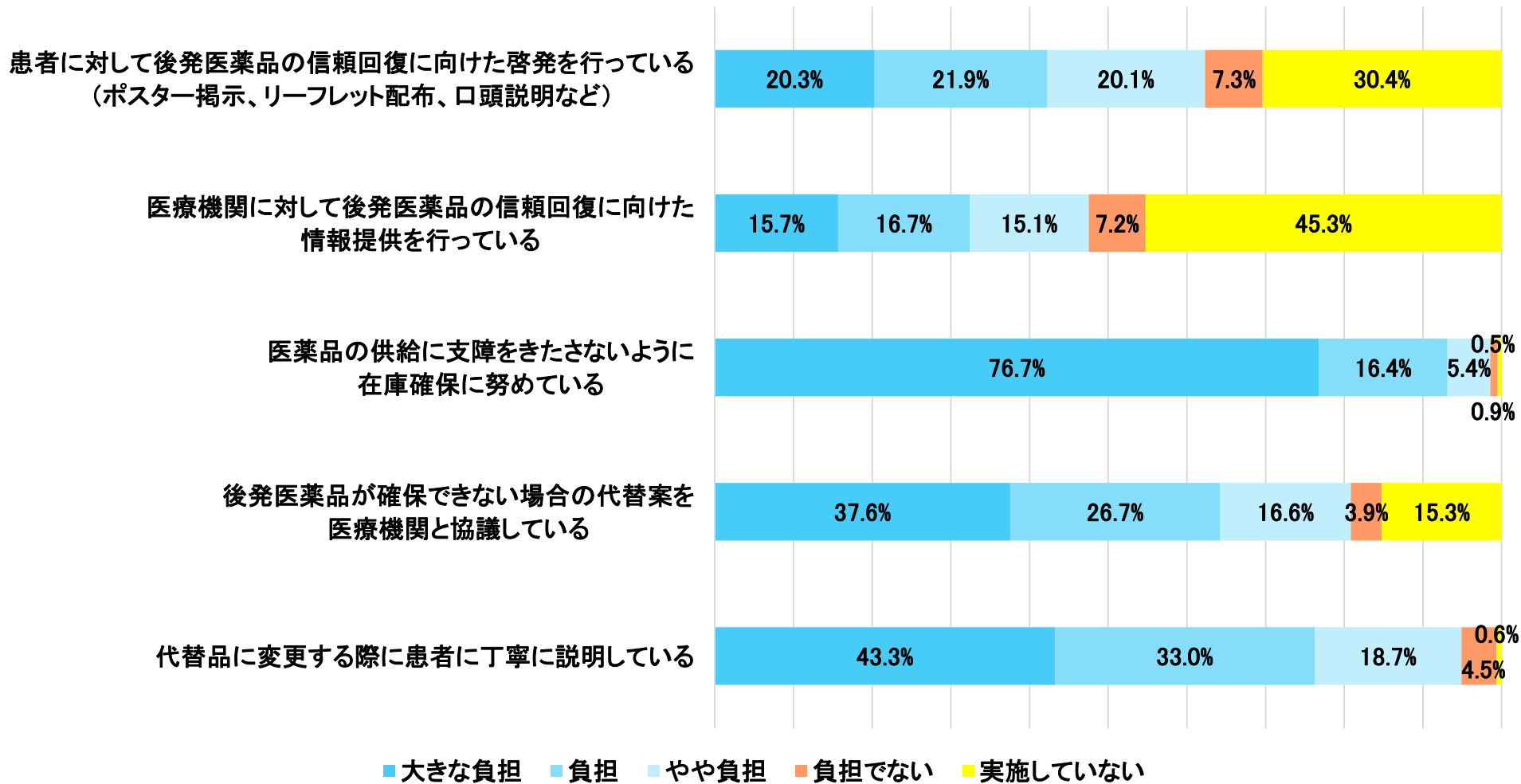
Q2-3-2 後発医薬品の自主回収や出荷調整に対する「処方医」からの訴えについて教えてください。(複数回答可) (N=5198)

その他(フリーコメント)

- ・出荷調整中の医薬品であっても同効薬への変更は認めない。
- ・自分はこのまま処方したいので、この薬局に持ってくるようにメーカーに言うようにと言われた。
- ・品薄状態で代替薬への変更提案をしても処方元の医療機関に拒否されてしまうケースもあり、在庫確保に苦労している。
- ・薬によっては中止せざるえないケースもあり、ただ医師がお怒りで薬局でどうにかしてくれなどなると薬局も困ってしまいます。
- ・直接話してはいないが、在庫不足で処方変更の疑義をかけても断られるケースがある。薬剤の性質上、循環器薬等は困難か。
- ・一般名処方になっているからあとは薬局でなんとかしてほしいと言われた。
- ・変更点について書面をもって患者に説明するよう訴えあり。
- ・治療に支障がでるのは困るという訴えあり。薬剤が確保できないのであれば処方箋を応需しないでほしいという訴え。
- ・薬の問題は薬局の問題なのだからそちらで何とかしろ。処方続ける、と言われた。
- ・入荷可能な薬局へ行くよう医師から患者への口頭指示あり。
- ・先発志向の強い医師がメインのため影響は小さいが昨今の状況に対する理解が薄いためいざ欠品が起こったとしても理解してもらえない。
- ・院内では確保出来ている薬剤が院外(調剤薬局)で確保出来ていないことに対する疑問、不満。
- ・出荷調整による入手困難での理解度が低い。
- ・今まで考えたことがなかった在庫についても考えて処方しなければならない負担の訴えあり。
- ・先発品も含めての在庫状況への相談。(治療継続が可能か相談)
- ・治療スケジュールの見直しを強いられることへの不満。
- ・供給がなくなってしまった薬などは医師が処方できず、代替処方をださなければならず、ファーストチョイスの治療ができないことがある
- ・そもそも医師が認知していないことが多いです。
- ・処方医側が自主回収や出荷調整を十分に把握しておらず、通常通り処方されるケースが多々ある。
- ・医師は今回の問題についてあまり興味がないように思われる。
- ・ジェネリック医薬品全般への不信感増
- ・日医工の薬剤は使用しないようにと話があった。

Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-3-3 後発医薬品の信頼回復に向けて貴店で取り組んでいること及びその業務負担について教えてください。
(N=5232)



Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

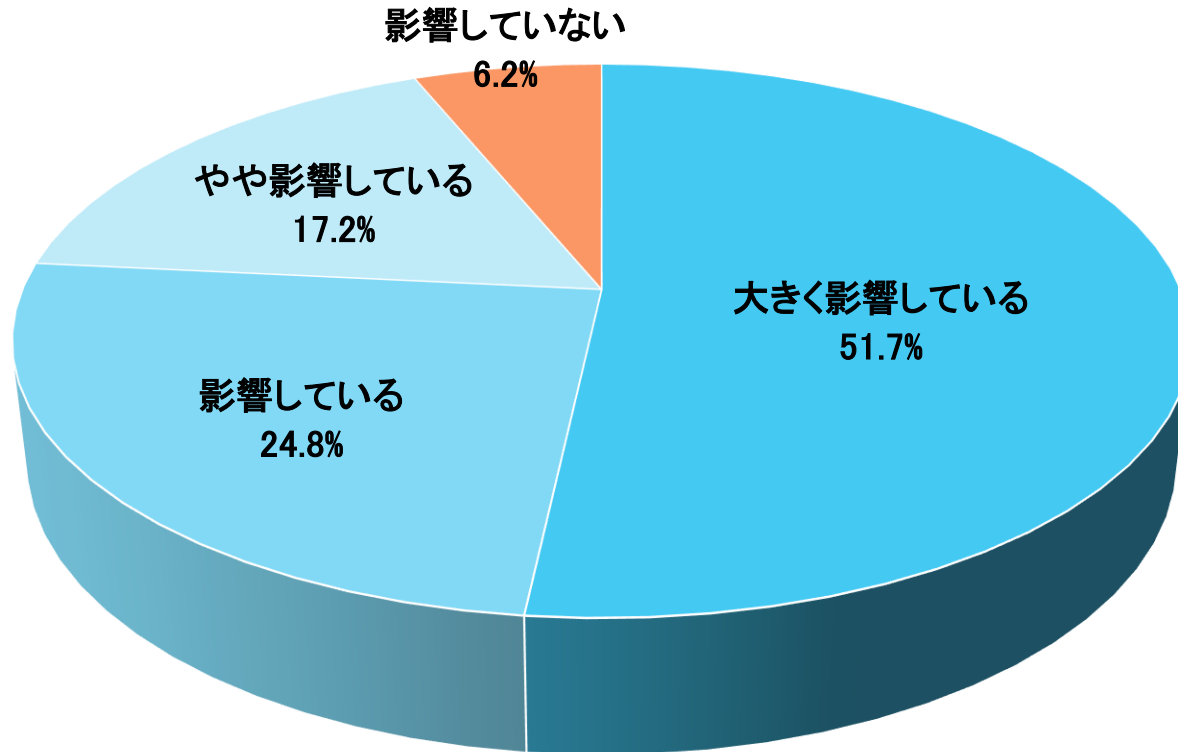
Q2-3-3 後発医薬品の信頼回復に向けて貴店で取り組んでいること及びその業務負担について教えてください。

その他実施していること(フリーコメント)

- ・後発医薬品について聞かれた時には、時間をかけて丁寧に説明し、後発医薬品は全てダメという印象にならないように説明しています。在庫確保のために卸に電話をかけ、在庫状況の情報を集め、流通が不透明な品目は、仕入れておきます。そのため在庫が膨れ上がります。
- ・今、流通している薬は患者様には問題ないこと、ジェネリックでも製剤の改良等で優れたものがあると説明しているが、説明に時間が取られて業務に支障がでています。
- ・後発医薬品に関する患者向け資材を希望者に提供している。
- ・患者に対して適切な情報提供を行ったうえで、個々の要望に応じた薬品や銘柄を在庫し提供する。
- ・医薬品入手困難を理由にメーカー変更などを繰り返して信頼を失わないよう配慮 一度変更した商品をできるだけ再変更しないためには採用品目数がどんどん増えているが顧客満足度のために仕方がない。
- ・処方箋受付時に事前に次回以降代替品に変更する可能性があることを説明。
- ・後発医薬品の啓発・信頼回復も何も、医薬品が納品されない以上薬局側からは何も実施できない。(ポスター掲示はしているが...)準備できない事に関して患者に何を勧めろというのか?しかしながら後発品希望の方も多いため、他メーカーで準備できそうな品目に関しては積極的に在庫させてもらっている。また今回の事態は先発・後発メーカーの区別関係なく生じた事なので、無用な風評被害につながらないよう医師・患者へはその旨を口頭で伝えてはいる。
- ・在庫確保のためメーカーの情報集めにかなりの時間を費やしている現状では薬剤師も後発医薬品に対する不信感があるので患者への説明が心苦しい。
- ・患者に説明する時間は長時間に及ばなくても、そのための準備・在庫の確保・メーカー・卸との協議について、かなりの時間を割かなくてはいけない。
- ・在宅医療のため、施設、介護者、ケアマネ、ご家族への連絡。
- ・後発品の出荷調整が先発品に及び、Dr.への説明に苦労した。
- ・後発品メーカーのホームページをお知らせしている。
- ・安定供給しやすいメーカー、情報開示してくれるメーカーに出来るだけ変更またはAG品で用意し、患者様への理解を得られるよう努力しています。
- ・AGの選択肢を広げている。
- ・処方入力時にどの薬が在庫しているか、スタッフでの情報共有。・原薬の供給元調査。

Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-4-1 後発医薬品メーカーの違反などに伴う相次ぐ自主回収や出荷調整は、後発医薬品調剤割合のマイナス要因として影響していますか？ (N=5232)

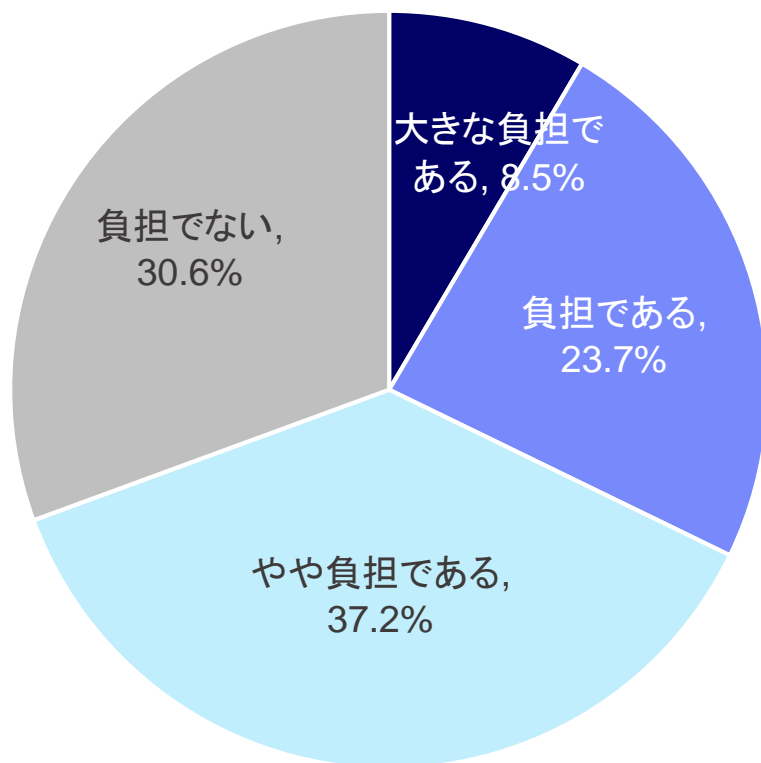


■ 大きく影響している ■ 影響している ■ やや影響している ■ 影響していない

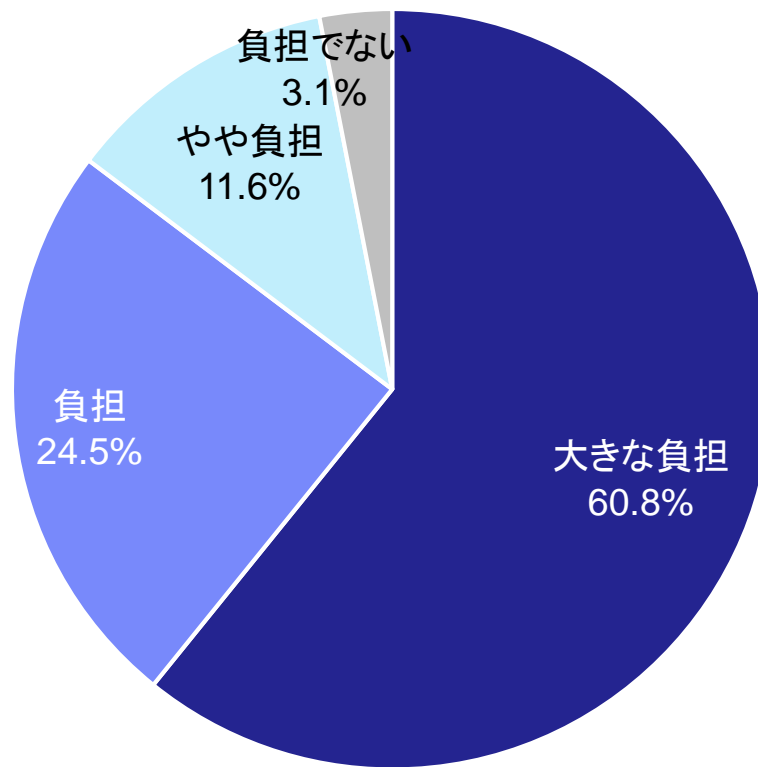
Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-4-2 これまでの設問の内容もふまえ、現在の後発医薬品調剤割合を維持するための負担について教えてください。
(N=5232)

■ 2020年7月調査時 N=3,881



■ 2021年8月調査時 N=5,232



Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-5-1後発医薬品メーカーの違反などに伴う相次ぐ自主回収や出荷調整についてご意見などがあれば自由にご記載ください。

フリーコメント

- ・薬剤師がどれだけ医療費削減のためにと説明をして、患者様に啓発をしても今回のようなことがあるとそれが全て水の泡になってしまう。後発メーカーには自分たちが作っているものは患者様の命に直結するものであるということを改めて認識していただきたい。
- ・後発医薬品へのイメージ・信頼性が揺らぐ大きな問題だと思われます。安全性・有効性は先発医薬品同等である旨を患者様に説明して参りましたが、今回の件で、それが保証できなくなりました。患者様が納得し安心して服用できるよう管理体制をしっかりと整えて頂きたいと思えます。
- ・患者への窓口である薬局の負担が大きすぎる、本当に勘弁してほしい。
- ・処方医は処方を出し続け、薬局は疑義照会結果待ち時間や、調達ができず。板挟み状態。
- ・最近では自主回収や出荷調整が多数あって在庫確保や患者説明、医師対応など様々な側面で困っています。後発品の欠品によって先発品も影響を受け業務が滞る率が高くなっています。
- ・出荷調整というレベルではなく、使用していた薬の確保がすでにできなくなっている。現在進行形でかなりの問題が発生している。なのに何事もなかったかのように診療が続けられ、絶対手に入らない薬剤などが処方されている。先発医薬品を使えばいいというには無責任すぎるくらい、後発医薬品の使用量がふえている状況の中で今回の供給問題が発生しているということは、すでに薬の内容によってはいままでの処方が不可能にするほどの影響があるレベルの問題であることを認識しているのか。供給体制が危機的な状況であるならばそれを処方元医療機関に理解し対応いただけるまで説明してきてほしい。
- ・後発品の流通が滞ることにより先発品の入荷も危ぶまれてしまい、その成分の薬が手に入らないということが非常に重荷になっています。また、現在の流通状況について(特に先発品すらも出荷制限かかっているもの)、医師も病院薬剤部も把握していないことが多く用意できない事を理解して頂けません。薬局だけではなく、医師を始めとした医療機関側にも情報の周知をもっとしていただきたいです。
- ・自主回収やそれに伴う出荷規制で大変迷惑している。新規で取れない薬もあるため、後発品変更の妨げになる。
- ・昨今の供給不足に伴う調整がとにかく負担になっており、品目数も多く把握するのが困難。
- ・先発メーカーも何しているか分からないがコンプライアンスは守ったうえで安定供給に向けて整備していただきたい。
- ・今後は違反などによる出荷停止が無いように努めてほしいです。
- ・後発医薬品をすすめているにも関わらず、あまりにも不祥事が多すぎること

Q2. 後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

Q2-5-1 後発医薬品メーカーの違反などに伴う相次ぐ自主回収や出荷調整についてご意見などがあれば自由にご記載ください。

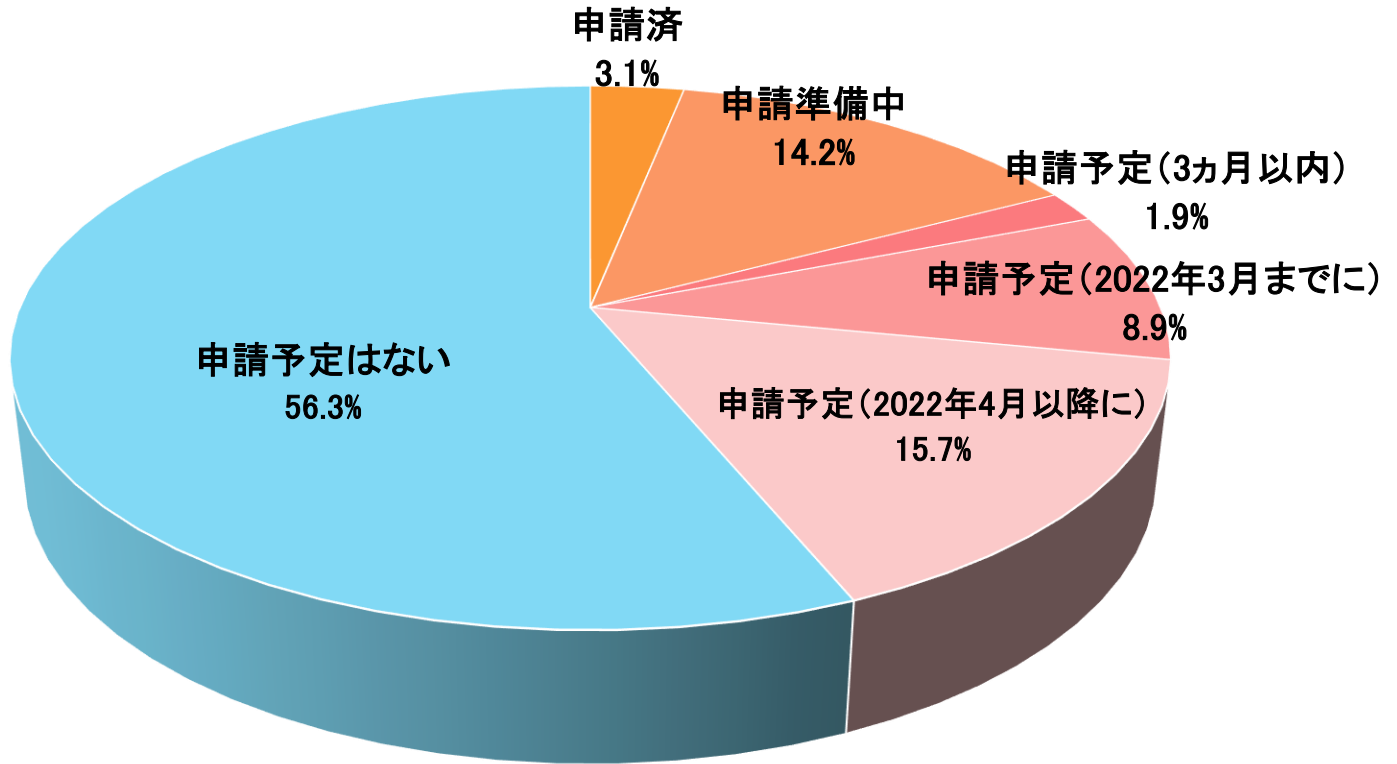
フリーコメント

- ・最低限安定供給はしてほしい。切らしてはいけない薬もあるので在庫がないと対応しようがない。
- ・治療ができないレベルで在庫が枯渇してしまうので国の検査などで仕方がない部分もありますが、代替薬などを明確にしてもらいまたその代替薬の在庫は十分ある状況で自主回収等を行ってほしい。
- ・業務量増加により本来の業務が滞り、精神的、肉体的にも疲労感が増している。ジェネリックメーカーが多すぎるため、安定に供給できる会社を5社ほどに絞って販売してほしい。
- ・メーカーの違反による自主回収や出荷調整は何とかしてほしい。後発変更率も日々努力しているが、今回のような件で後発率が落ちた場合の配慮を検討してほしい。
- ・後発品を入手できない薬剤は届出の算定から除外してほしい。
- ・薬価改定の影響もあるのでは。
- ・国策で推進しているが、可能であれば今後は後発品の開発をやめて、今後特許が切れる先発医薬品の薬価を後発品並みに引き下げてそのまま製造販売を継続させることで、供給や品質を安定させてほしい。
- ・厚生労働省が後発医薬品の促進を進めるだけでなく品質の確認もきっちり行ってほしい。
- ・国の医療の根幹に関わる大きな問題。今までの方向性が間違っていた証拠。抜本的な改革が必要。

Q3. 地域連携薬局・専門医療機関連携薬局について

地域連携薬局についてお伺いします。

Q3-1-1 認定の取得状況について教えてください。(N=5232)

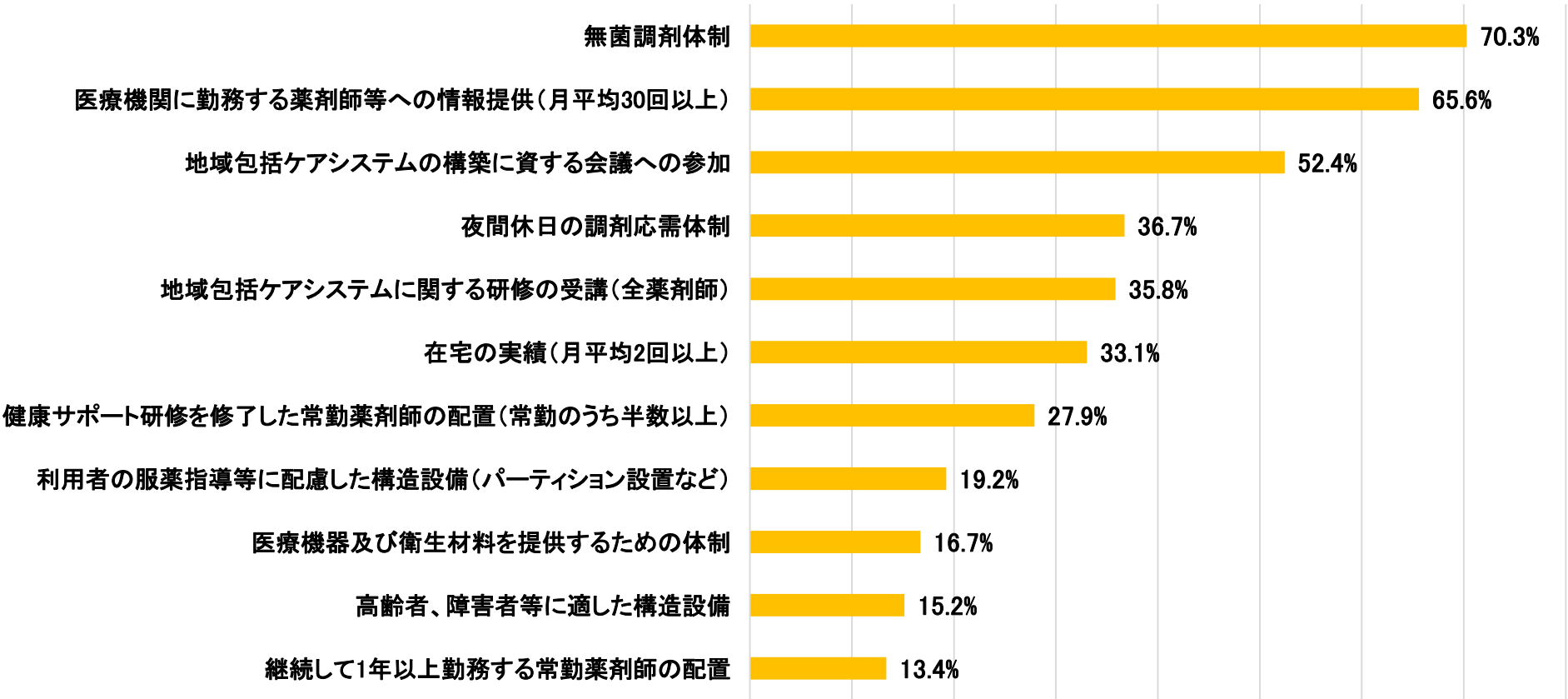


- 申請済
- 申請準備中
- 申請予定(3ヵ月以内)
- 申請予定(2022年3月までに)
- 申請予定(2022年4月以降に)
- 申請予定はない

Q3. 地域連携薬局・専門医療機関連携薬局について

地域連携薬局についてお伺いします。

Q3-1-2 認定取得にあたって大きなハードルとなっている要件について教えてください。(複数回答可)(N=5100)



Q3. 地域連携薬局・専門医療機関連携薬局について

地域連携薬局についてお伺いします。

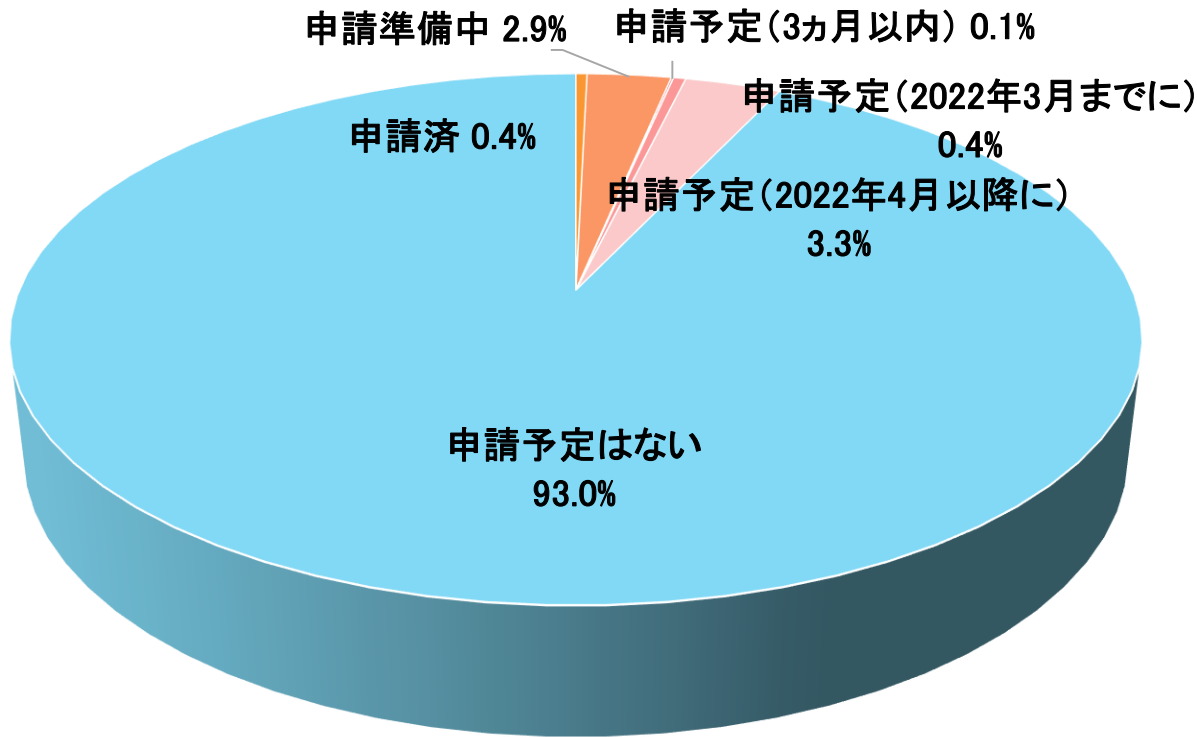
Q3-1-2 認定取得にあたって大きなハードルとなっている要件について教えてください。(複数回答可)(N=5100)

その他(フリーコメント)

- ・病院との連携 ・入院時退院時の情報提供。
- ・スタッフ不足。 ・新たな業務が加わる事による業務体制の変更。
- ・必要に応じて医療機関への情報提供は実施しているが、月平均30回以上が困難である。
- ・管理薬剤師の勤務経験年数 ・麻薬在庫が必要。
- ・一人薬剤師の薬局ではなかなかハードルが高いと感じます。 ・認定薬剤師の取得にかかる費用負担。
- ・制度が複雑。一部、むしろ多くの項目が形式的にすぎる。対価が法人でなく薬剤師個人に紐つかない。現場の薬剤師の意欲を損ねるのみ。夜間や休日を暗に拘束される正当性がない、あるいは既存の対価に合わない。法人としては形(ガワ)だけ整えるだろうが実質的に患者の役に立つかは本当に懐疑的。いかにも理想ありきで作ったルールだが現実との乖離著しい。
- ・医療機関への情報提供についての意見です。地域連携においてケアマネージャーさんや訪問介護にかかわる方への報告も行っていくべきであると思いますが、その方たちへの報告書は提供回数に入らない現状を変えていただきたいと思います。医師・薬剤師だけではなくもっと幅広い業種が連携しやすい環境づくりを考えていただきたい。
- ・コロナ渦で地域包括ケア会議は実施されなくなっており、在宅ケア会議も密を避けて控えている状態で、これを条件とするのはおかしいと。
- ・小児科門前のため条件を満たすことが極めて難しい。

Q3. 地域連携薬局・専門医療機関連携薬局について

専門医療機関連携薬局についてお伺いします。
Q3-2-1 認定の取得状況について教えてください。(N=5232)

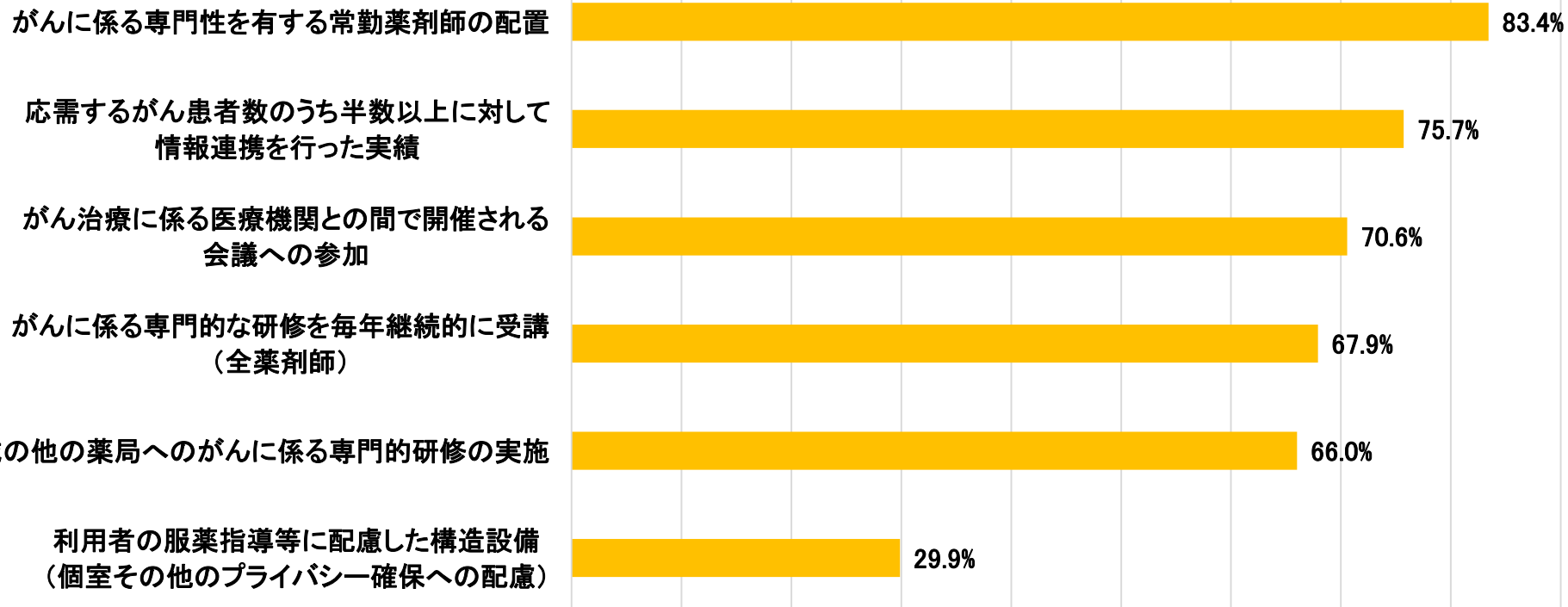


- 申請済
- 申請準備中
- 申請予定(3ヵ月以内)
- 申請予定(2022年3月までに)
- 申請予定(2022年4月以降に)
- 申請予定はない

Q3. 地域連携薬局・専門医療機関連携薬局について

専門医療機関連携薬局についてお伺いします。

Q3-2-2 認定取得にあたって大きなハードルとなっている要件について教えてください。(複数回答可)(N=4961)



その他(フリーコメント)

- ・ルーティンをこなしながら、取得の勉強など困難。
- ・新たな業務が加わる事による業務体制の変更。
- ・麻薬在庫が必要。
- ・門前病院の薬局が人員の問題で連携が困難。
- ・研修時間の確保。
- ・スタッフへの負担。
- ・5年間の病院への研修。
- ・病院の体制が整わない。